

2009年（平成21年）度
国有林野事業関係業務に係る業務・システム最適化実施状況報告書

1. 国有林野事業関係業務に係る業務・システムの概要

項目	内容
個別管理組織担当課室名	農林水産省林野庁国有林野部 経営企画課情報管理室
対象期間	2009年4月1日～2010年3月31日
最適化工程の段階	運用段階

2. 最適化実施状況

(1) 刷新システムの運用

(最適化の実施内容)

2007年4月から国有林野情報管理システム（刷新システム）の運用を開始し、システム運用3年目の2009年度においても適切に運用する。

(最適化の実施状況)

(7) 2009年度の運用にともない、引き続き、刷新システムの運用支援業務、機器の賃貸借、システム運用センターを調達した。

① 運用・支援業務

- ・ 契約事業者：富士通株式会社
- ・ 契約期間：2009年4月1日～2010年3月31日
- ・ 契約形態：一般競争入札（最低価格落札方式）
- ・ 契約額：126,000,000円（税込）

② 機器の賃貸借

- ・ 契約事業者：東京センチュリーリース株式会社
- ・ 契約期間：2009年4月1日～2010年3月31日
- ・ 契約形態：一般競争入札（最低価格落札方式）
- ・ 契約額：140,310,000円（税込）

③ システム運用センター

- ・ 契約事業者：東京センチュリーリース株式会社
- ・ 契約期間：2009年4月1日～2010年3月31日
- ・ 契約形態：一般競争入札（最低価格落札方式）
- ・ 契約額：72,198,000円（税込）

(4) 2007年4月の運用開始以降、初期障害等が発生したことを受け、運用支援事業者とともに段階的に強化テストを重ね品質回復に取り組むとともに、業務処理での新システムの活用に向けた取組を行ってきたところである。その結果、現段階においては旧システムに代わるシステムと

しての運用レベルに達している。

2009年度においても、引き続き、月1回の定例会（構成メンバー：CIO補佐官、大臣官房情報評価課職員、情報管理室システム担当職員、運用・保守業者）を開催し、各項目（インシデント管理、問題管理、キャパシティ管理等）に関して報告等を行い、システムの障害や操作上の問題点の把握・対応等について随時打ち合わせを行い、問題点の解消に努めるとともに、職員から寄せられる改修要望に対しては、優先度等を勘案しながらプログラム改修を行い、操作性の向上に努めた。

なお、SLAについても、運用業者からの報告内容を受け見直し等行うなど最適化に向けた取組を行った。

- (ウ) 旧システム（レガシーシステム）に存在した給与関係機能については、人事・給与関係業務情報システム（府省共通業務・システム）の導入延期等に伴い、旧システムの継続利用で対応している。
- (エ) 電子申請については、国有林野の使用許可など申請手続きの電子化に向けて体制整備を進めていたが、「農林水産省電子申請システム」の利用率が低調との理由から「電子政府評価委員会」などの評価を踏まえて、平成21年度をもってシステムを廃止することとなったため、当該取組が実施できなかった。

3. その他 なし

4. 添付書類 最適化効果指標・サービス指標一覧

最適化効果指標・サービス指標一覧
(国有林野事業関係業務)

1 最適化効果指標

(1) 最適化共通効果指標

①削減経費 (単位: 千円)

全体	初年度目	2年度目	3年度目	4年度目	5年度目
	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度
最適化実施前の経費(a)	1,268,983	1,268,983 (211,497)	1,268,983	1,268,983	1,268,983
最適化実施後の経費(試算値)(b)	—	90,466	542,795	542,795	542,795
削減経費(目標値)((a)-(b))	—	121,031	726,188	726,188	726,188
最適化実施後の経費(実績値)(c)	—	—	799,751 (543,321)	763,915 (543,629)	760,855 (539,269)
削減経費(実績値)((a)-(c))	—	—	469,232 (725,662)	505,068 (725,354)	508,128 (729,714)

注: システムの運用経費は削減目標を達成しているが、人事・給与関係業務情報システム(府省共通業務・システム)の導入延期等に伴う旧システムの継続運用の影響により、給与計算事務にかかるシステム運用経費が掛かり増しとなっている。
なお、()書きは、旧システムの運用経費を除いた場合の実績値である。

②削減業務処理時間 (単位: 時間)

全体	2004年度	2009年度			
	最適化実施前の業務処理時間(a)	最適化実施後の業務処理時間(試算値)(b)	削減業務処理時間(目標値)((a)-(b))	最適化実施後の業務処理時間(実績値)(c)	削減業務処理時間(実績値)((a)-(c))
時間	25,512	14,208	11,304	—	—
金額換算(千円) (3,125円/時間)	79,725	44,400	35,325	—	—

注: 人事・給与関係業務情報システム(府省共通業務・システム)の導入延期に伴う旧システムの継続運用の影響等により、当初見込んでいた最適化実施後の業務処理時間に影響が出ており算出が困難である。

③オンライン申請利用率 (単位: %)

オンライン申請手続名		最適化実施前	初年度目
		2004年度	2009年度
使用許可・使用承認の更新	目標値		30
	実績値	—	—
	算出式	「オンライン申請件数」/「全申請件数」×100	

注: 2009年度は申請手続きの電子化に向けて体制整備を進めていたが、農林水産省電子申請システムの運用が平成21年度をもって運用を廃止することとなったため、オンライン申請を実施できず、効果は発現していない。